

いろいろな仕事 いろいろな生き方があるね みんなかがやいているね

お願い

この冊子は、主として小学校高学年(5, 6年生)を対象として平成16年1月に作成しました。男女共同参画の推進の必要性を十分認識され、この冊子を用いて、子どもたちとともに、男女共同参画社会とはどんな社会なのか、どうしたら男性も女性も誰もがいきいき暮らせるのかなどについて考える時間にしていただきたいと思います。

本時の活動を提示しますが、これはあくまでも展開例ですので、先生方で研究の上、授業等を組みたてたり、補助プリント等を作成してみてください。

また、授業等でこの冊子をお使いいただき、気づかれたことや御感想をお寄せいただければ幸いです。

1 活用に当たって

○テーマ

将来の生き方(男女の固定意識をこえた職業選択の自由)

○解説

- 社会通念として、現実に「男の仕事(職業)」「女の仕事(職業)」と思われていたり、実際に性別で職業選択の自由が制限されていたりするものもある。
しかし、本来は職業選択は自由であるし、性別にとらわれることなく職業選択は行われる時代にきている。
現実的には難しい職業もあるが、子どもたちが自分の職業について考えていく時、固定的な意識が障害とならないよう、自由な職業選択ができるように考えさせていきたい。
今後、社会情勢や雇用については、ますます男女平等の視点で環境整備が進められるものと思われ、職業選択についてこれまでの慣行や規制にとらわれることなく、より新しい意識を子どもたちに育てていきたい。

2 活用例

○活用上の位置付け

第5学年 総合的な学習の時間、学級活動

(1) 題材名

いろいろな仕事 いろいろな生き方があるね
みんなかがやいているね

(2) ねらい

- だれもが自分のよさや可能性を生かすことができる社会に向けて、今日の社会の状況を見つめるとともに、将来の自分の生き方について考える。
- 主体的に職業を選択して生きることを通して、自己実現を図っていくことの大切さに気づく。

(3) 展開例

学 習 活 動	教師の指導・支援のポイント
<p>1 ワークシートを使用する 「男の人の仕事(職業)女の人の仕事(職業)」はどんなものがありますか」 【ワークシート4】の利用</p> <p>2 「それは、女(男)の人にはできない仕事だと思いますか」</p> <p>3 資料を見る 写真を見ての感想は</p> <p>4 みんなで話し合う 「大人になったとき、どんな仕事をしたいですか、それはなぜですか」</p> <p>5 本時のまとめをする (宿題) そのいきいきとした姿にふれる(性別に関係なく自分の進みたい道で力を発揮している人を、聞き取りや図書館等の資料などで見つけ出す) 【ワークシート5】の利用</p>	<p>○思ったことを自由に出し合うようにする。</p> <p>○固定的な職業意識に関して、「おかしいな」「男も女も一緒なのに」という子どもの気持ちを引き出したい。</p> <p>○「男の職業」「女の職業」というものがあるかどうか。あるとしたら、どんな職業か、その職業が本当にその性に限定されるものなのかどうか話し合いたい。</p> <p>○自分が将来やりたいことやつきたい職業について紹介し合うことによって、自分の生き方を見つめられるようにしたい。</p> <p>○自分の将来の夢や仕事について話し合う。</p> <p>○「こんな仕事をしたい」「～になりたい」等、固定意識にとらわれることなく自由に将来の夢が描けるように、いろいろな職業にチャレンジできるよう導いていきたい。</p>

いろいろな仕事 いろいろな生き方があるね
みんなかがやいているね

【ワークシート4】

氏名 _____

女のしごと？ 男のしごと？

- 1 あなたが知っている職業名を書いてみましょう。
また、その職業には女の人、男の人のどちらが多いでしょうか。(○をつけましょう)

知っている職業名	女の人	男の人

- 2 将来、あなたは、どんな職業につきたいですか。どんな生き方をしたいですか。
また、それはどうしてですか。

- 3 今日の学習で思ったこと、考えたことを書きましょう。

いろいろな仕事 いろいろな生き方があるね
みんなかがやいているね

【ワークシート5】

氏名 _____

おうちの方へ

(大人用)

1 仕事をしていて、「うれしい」「よかった」と思ったのは、どんなときですか。

.....

.....

.....

(大人用)

2 仕事をしていて、「女性だから」「男性だから」ということで、不愉快な思いをしたり不利益を感じたりした経験はありませんか。その経験はどんなことですか。

.....

.....

.....

(子ども用)

3 聞き取りをして、あなたは、どう思いましたか。

.....

.....

.....

いろいろな仕事 いろいろな生き方があるね
みんなかがやいているね

1 管理職

○公立学校の校長・教頭に占める女性割合(県・全国)

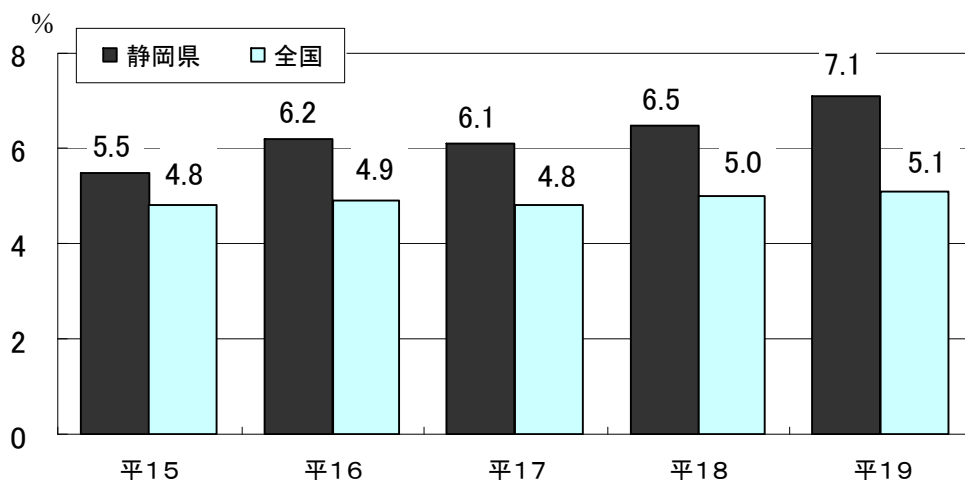
常に女性比率が全国平均を上回っているのは高等学校の校長のみである。
義務教育については、全国平均に大きく遅れをとっている。

区 分		平成 19 年度			平成 18 年度	平成 17 年度
		静岡県 (%)	全国 (%)	対全国 (ポイント)	対全国 (ポイント)	対全国 (ポイント)
小 学 校	校長	16.0	17.9	▲1.9	▲1.1	▲1.4
	教頭	17.3	21.2	▲3.9	▲4.0	▲3.1
中 学 校	校長	2.7	4.8	▲2.1	▲3.3	▲2.5
	教頭	6.1	8.0	▲1.9	▲2.1	▲3.2
高等学校	校長	8.7	5.0	3.7	4.1	2.2
	教頭	6.5	6.2	0.3	▲0.2	0.6

資料:学校基本調査(H17, H18, H19)

○地方公務員の女性管理職割合(県・全国)

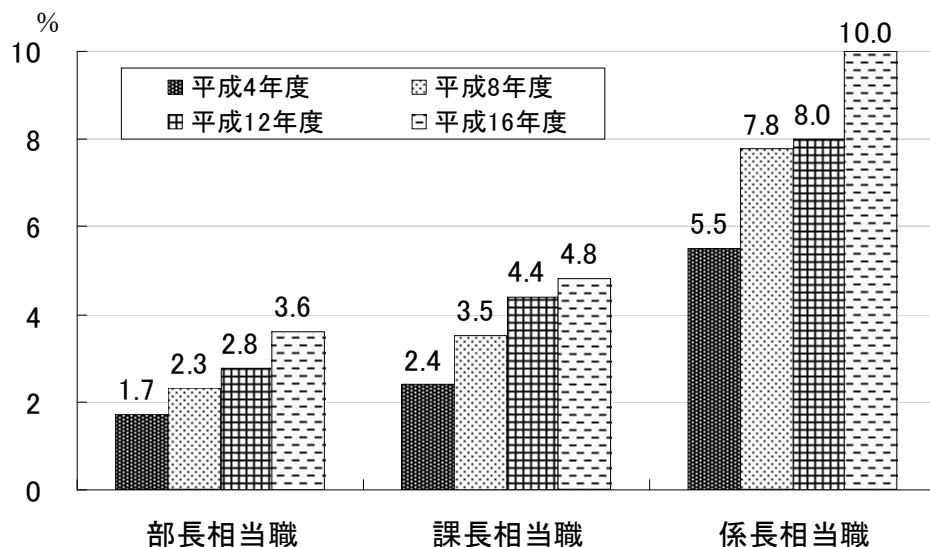
県の管理職(本庁課長相当職以上)の女性比率は、平成19年度は7.1%で、概ね増加傾向にある。また、常に全国平均を上回っている。



資料:地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況
(H15, H16, H17, H18, H19)

○民間企業の役職別管理職に占める女性割合の推移（県）

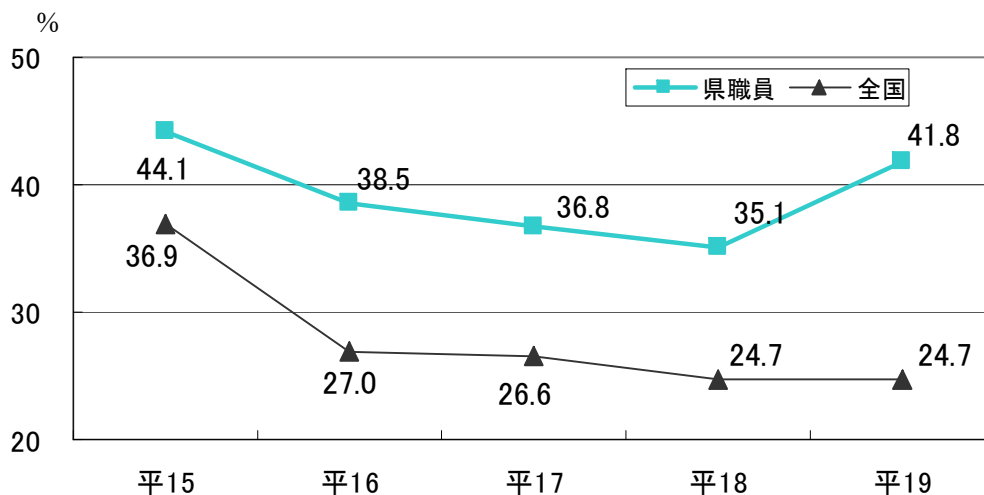
部長相当職、課長相当職、係長相当職のそれぞれで伸びてはいるが、いずれも1割以下であり、極めて低い水準である。



資料：女性雇用管理実態調査（H4, H8, H12, H16）

2 県職員における女性の採用状況の推移（県・全国）

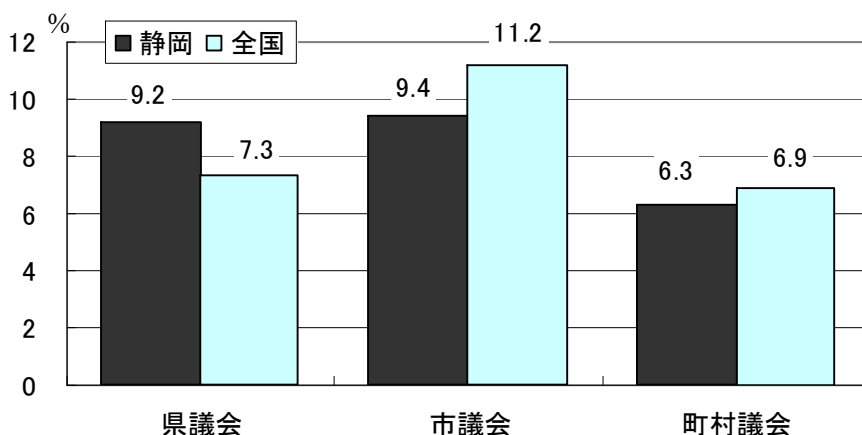
県職員の採用に占める女性の割合は、一貫して全国平均を上回り、高水準を維持している。



資料：地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（H15, H16, H17, H18, H19）

3 県議会、市町村議会における女性議員の割合(県・全国)

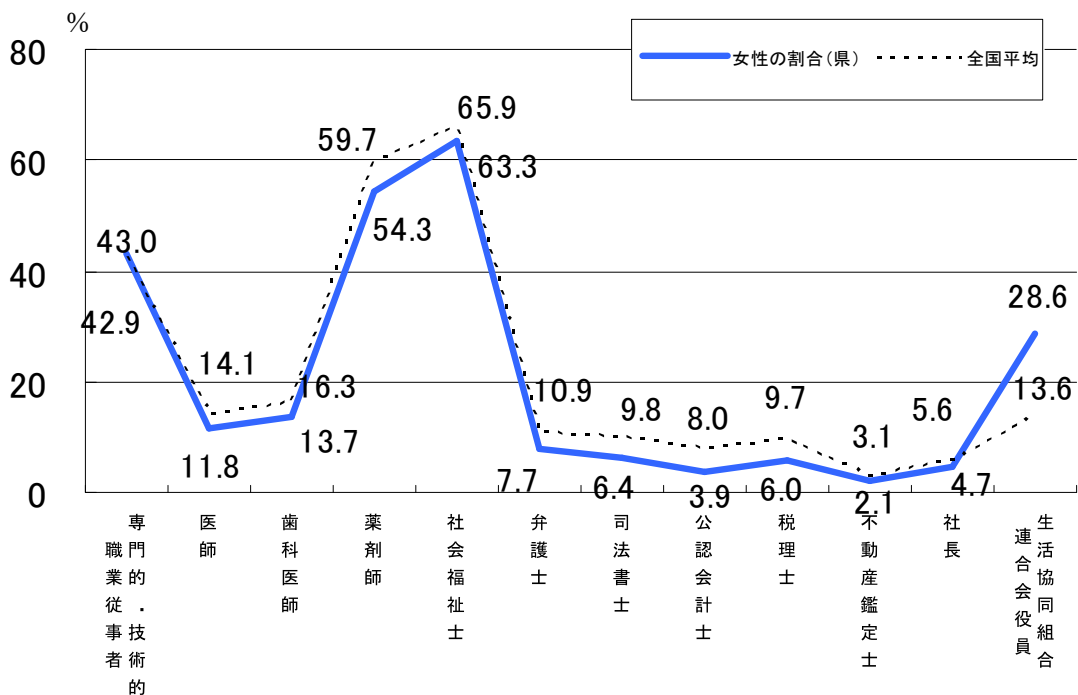
県議会における女性議員の割合は全国平均を上回っているが、県内市町村議会における女性議員の割合はいずれも全国平均を下回っている。また、女性議員の割合はいずれの議会においても1割に満たず、十分な状況であるとはいえない。



資料: 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況 (H19)

4 職業の分野における女性の参画状況(県・全国)

女性の参画は社会福祉士、薬剤師などで進み、公認会計士、医師、弁護士ではまだ少ない。本県の女性割合は、専門的・技術的職業従事者、生活協同組合連合会役員以外は、いずれも全国平均と比べて低い状況にある。

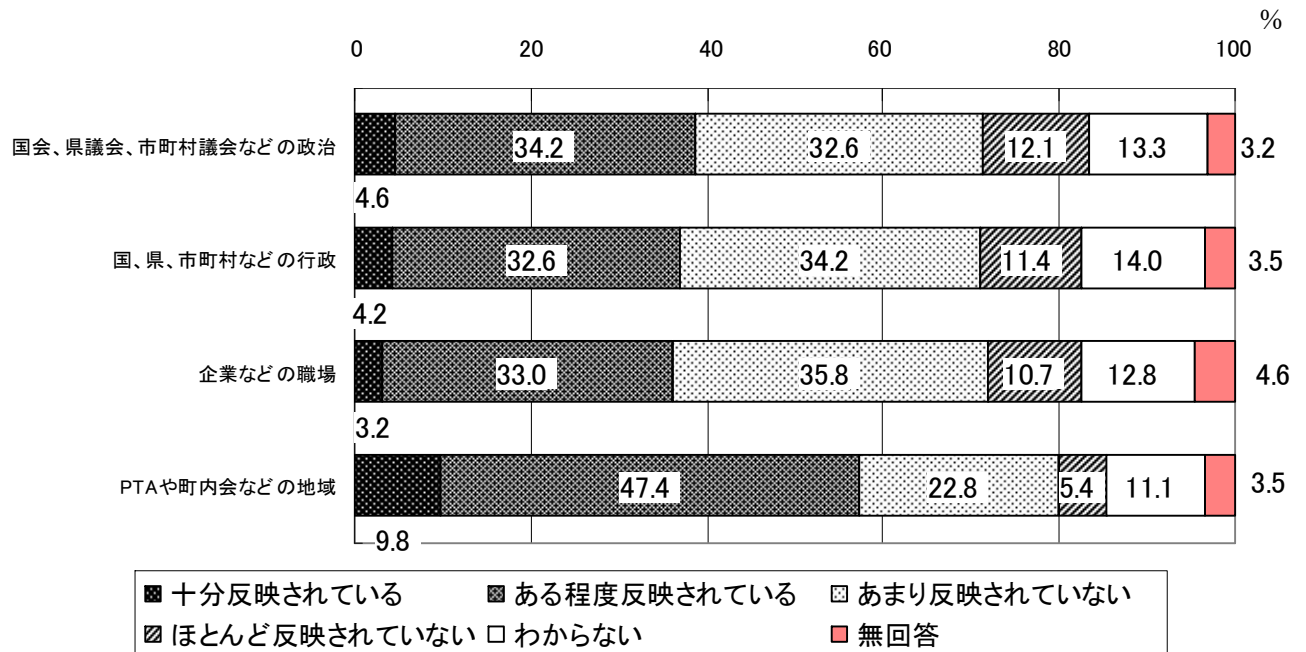


資料: 地域における男女共同参画状況調査 (H13)

5 政策方針決定の場への女性の参画について

○各分野での女性の意見の反映度(県)

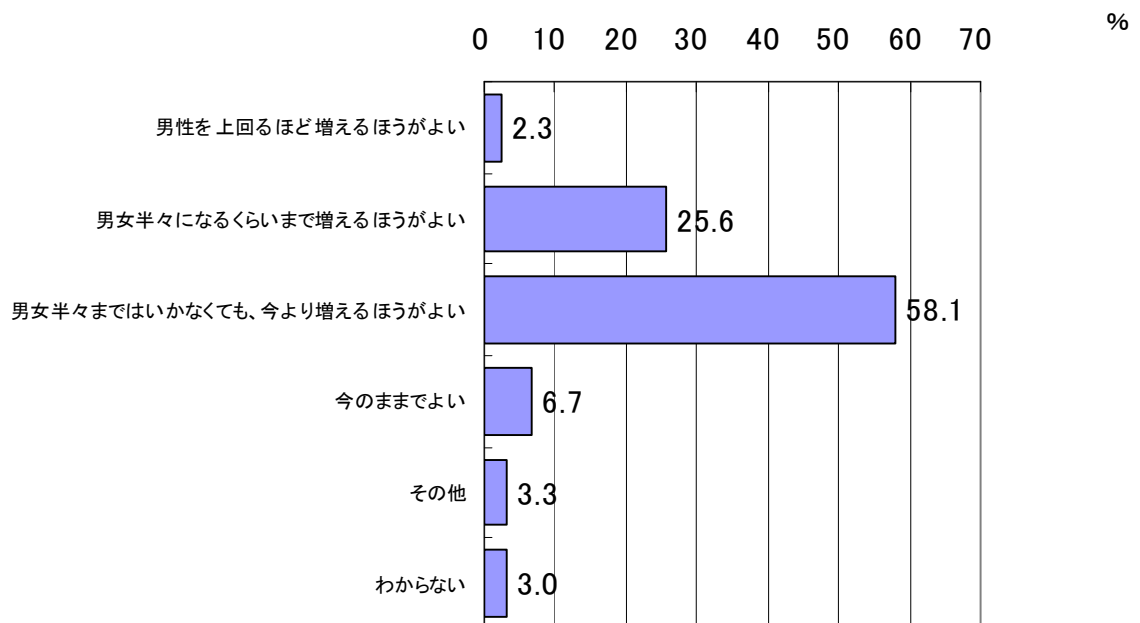
政治、行政、職場では、女性の意見は十分反映されていないという状況である。



資料：静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(H18)

○政策決定の場に女性の参画が少しずつ増えていることについて(県)

多くの人が、政策決定の場に女性の参画が今より増えることを望んでいる。



資料：静岡県の男女共同参画に関する県民意識調査(H18)